

ジャパン・レターアーツ・フォーラム主催 ワークショップ

レターカッティング入門

- 講師 ゴードン恵美
- 開催日時 2009年10月31日(土)～11月2日(月) 10:00～16:30
- 会場 弁天町市民学習センター(大阪市港区)
- 参加費 32,000円
- 定員 10名
- 材料費 1,000円
- 申込方法 電子メールのみの申込みとし、下記事項を記入したメールを下アドレスに送信下さい。パソコンからのメール受信可能な状態であれば、携帯電話のメールでの申込みも可能です。
 - 1) 件名に「ゴードン恵美 WS」とご記入ください。
 - 2) 氏名(ふりがな)
 - 3) 住所と電話番号
- 申込締切日 9月25日(金) 但し、定員に空きがある場合には、その後の申込みも受付けます。空きの有無はJ-LAFウェブサイトでお知らせします。 <http://j-laf.org/>
- 送信先 workshop@j-laf.org
(WSに関する質問、ご意見もこのアドレスまで)
- 当日の持ち物 キッチンペーパー 1ロール、カッターナイフ
カラダッシュ社の水彩用色鉛筆の白を2本
(入手できない場合は、日本製の水彩用鉛筆でもかまいません)
HBの鉛筆2本、定規、三角定規
青または赤のカーボンペーパー(文字を石に写すため)1枚
エアパッキンまたはプチプチの包装用ビニール(石を保護するため)100cm x 100cmを2枚
セロテープ、マスキングテープ
- 主催 J-LAF(ジャパン・レターアーツ・フォーラム) 関西



スライドショー

10月31日(土) 17:30からスライドショー(30～40分程度)を開催します。これは、WS参加者以外の方もお申込みいただけます。参加ご希望の方は、下記E-mailへお申込みください。ご記入いただく内容は、ワークショップと同様ですが、件名に「スライドショー申込み」とご記入ください。参加費は500円です。当日会場にてお支払いください。

* WSに参加者される方は、申込み・参加費ともに不要です。
workshop@j-laf.org



ゴードン・恵美 プロフィール

1995年にカリグラフィーを東京で習いはじめる。翌年、トーマス・イングマイヤー氏のワークショップを受け、海外でカリグラフィーを学ぶ事を決意する。2年の準備期間を経て、97年に渡英、98年にローハンプトンのカリグラフィー・ディグリー(学位)コースに入学する。2001年にこのコースを卒業後、2002年にケンブリッジにあるレターカッティング工房であるカードゾ・キンダスリー・ワークショップ(Cardozo Kindersley Workshop)に入門する。2006年に長女出産のため退職するまでの4年半勤務する。現在は独立してレターカッティングとカリグラフィーの仕事をする。2002年、CLASのBrian Walker賞受賞、同年から2004年までSSIのAdvanced Training Schemeのコースに参加。その他多数のカリグラファー、レターカッティングのワークショップやレクチャーに参加。

* 講師ウェブサイト <http://www.tsukusidesign.com>

■ クラス概要

石に手彫りで字を彫るレターカッティング "Letter Cutting" (またはレターカービング "Letter Carving" と呼ばれる) は現在も英国国内だけではなく、ヨーロッパの国々で続けられている伝統工芸です。この入門コースではヴィーカット "V-Cut" と呼ばれる彫り方で文字を彫ることを学びます。このヴィーカットは、ローマ帝国時代にすでにその手法が確立され、当時の碑石に使われていたローマンキャピタルの文字のほとんどはこの彫り方で彫られています。

イギリスではエドワード・ジョンストン(1872-1944)の教え子だったエリック・ギル(1882-1940)がそのローマ時代の伝統的手法を彼の石碑の作品に多用し、彼のワークショップで培われたレターカッティングの精神、技術、そして教法は彼の弟子達を通じて今なお多くの職人の中に息づいています。この入門コースはそのギルの弟子であったデービッド・キンダスレー(1915-1995)の教法で進めていきます。石の彫り方だけでなく、道具や石の取り扱い方などにも重点を置く予定です。今回のコースの中では、文字のレターフォーム、デザインなどに関して重きを置いていませんが、ローマンキャピタルの基本の成り立ちについてを簡単に復習いたします。

■ コースの内容

- 1日目 石と道具の扱い方 彫り方の注意すべき点
- 2日目 デザインされた文字を石に写し、石を実際に彫り始める
- 3日目 仕上げ

■ 参加資格

ローマンキャピタルをペンや平筆で書いた事がある方、またはローマン体のタイプフェイス(例えば Palatino, Optima など)を鉛筆でドローイング出来る方

■ 今回使う石の大きさ

15 x 15 x 2 cm または、10 x 22.5 x 2 cm

■ 当日までの宿題

ワークショップで彫りたい石のサイズを上記のサイズから選び、そのサイズに合わせてローマンキャピタルで1単語(例えば "ORIENT" など)を上下左右のマージンを考えながらレイアウトペーパーに書いて来て下さい。メインシステムの幅が約5mmぐらいで、エックスハイトが4cm～5cmぐらいの文字を目安としてください。もちろん、基本的にはその他の大きさの字や数字でも構いません。

■ 道具の貸し出し

鑿とタミーと呼ばれるハンマー、そして鑿を研ぐための砥石は貸し出しいたしますが、ワークショップ終了後にお持ち帰りになりたい方には、実費にて(約1万5千円)お分けてできます。

* 参加者決定方法やキャンセルに関する詳細はウェブサイトをご覧ください。 <http://j-laf.org/>

